

第Ⅰ部 テクノサイエンスのポリティクス 013

第1章 エキゾチックな中絶薬

——一八世紀大西洋世界における植物のジェンダー・ポリティクス

ロンダ・シービンガー……………小川眞里子・弓削尚子訳……………015

【補論】 シービンガーが切り拓く視座

——植民地科学・ジェンダー・アグノトロジー ◎ 弓削尚子……………036

第2章 科学言説と「女性」の構築——E・クラークの女子高等教育論をめぐって

横山美和……………046

第3章 科学技術の現場から——工場法からテクノサイエンスまで

高橋さきの……………057

第4章 ウェブ世界の「ジェンダー」

館かおる・小山直子……………073

第5章 ヨーロッパの科学研究におけるジェンダー平等の推進

ニコル・ドゥワンドル……………小川眞里子・飯島聖衣訳……………093

【補論】 ヨーロッパにおける女性と科学政策について ◎ 小川眞里子……………114

第6章 科学と技術におけるアジアの女性

小川眞里子……………121

第Ⅱ部 生殖のストラテジー 143

第7章 人口政策のストラテジー——「産めよ殖やせよ」から「家族計画」へ

荻野美穂……………145

第8章 少子化対策と特定不妊治療費助成事業

仙波由加里……………160

【コラム1】 身体・医療・ジェンダー ◎ 波平恵美子……………174

第9章 生殖に関する人由来物質の資源化／材料化

——フランス「生命倫理法」における議論から

小門穂……………179

第10章

研究用卵子提供の何が問題なのか——韓国 の黄禹錫論文捏造事件を中心に

洪賢秀

196

コラム2 生殖技術と台湾社会

◎ 張瓊方

215

第11章

「女性にやさしい」機器のつくられ方——内診台を例にして

三村恭子・小門穂・武藤香織・張瓊方・洪賢秀・柘植あづみ

223

第12章

DNA親子鑑定は「ふしだらな」女性にとっての救済策か？

武藤香織

241

コラム3

「自分で決めた」という感覚の理論化に向けて

◎ 根村直美

268

第13章

生物医学に対するジェンダー・アプローチのフロンティア

柘植あづみ

274

著訳者紹介

293